

平成26年8月11日
中部地方整備局 木曾川上流河川事務所
独立行政法人水資源機構 徳山ダム管理所

お知らせ

1. 件名

徳山ダム・横山ダム連携による洪水調節を行いました。(速報)

2. 概要

平成26年8月9日から10日にかけて、大型の台風11号の接近に伴い岐阜県の山間部を中心に激しい降雨に見舞われました。徳山ダム・横山ダムの連携した防災操作の実施により、揖斐川本川の水位は、大垣市万石地点(河口から40.6km)において、約2.0m低下したものと試算しました。

また、徳山ダム・横山ダムが無かった場合には、揖斐川本川の水位は、計画高水位を超えて甚大な被害を及ぼした平成14年7月洪水(台風6号)を上回る水位になったものと試算しています。

なお、徳山ダムは、管理開始(平成20年5月)以降最大となる毎秒約1,210m³の洪水調節を行っています。(最大流入量毎秒約1,210m³)

3. 資料

別紙のとおり

4. 解禁

指定なし

5. 配布先

岐阜県政記者クラブ

6. 問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局 木曾川上流河川事務所
副所長 稲葉 傑
調査課長 齋藤 正徳
TEL 058-251-1321
独立行政法人水資源機構 徳山ダム管理所
管理課長 太田 敦司
TEL 0585-52-2910

◆徳山ダム・横山ダム連携による効果

徳山ダム・横山ダムの連携した防災操作の実施により、徳山ダム・横山ダムが無い場合と比較して、揖斐川本川の水位は、大垣市万石地点（河口から40.6km）において、約2.0mの水位が低下したものと試算しました。

また、徳山ダム・横山ダムが無かった場合には、揖斐川本川の水位は、計画高水位を超えて大垣市に甚大な被害を及ぼした平成14年7月洪水（台風6号）を上回る水位になったものと試算しています。



※記載の水位は速報値であり、今後変更の可能性があります。

◆参考

①ダムによる洪水調節量

徳山ダム地点

最大流入量：毎秒約1,210m³（運用開始以降、最大）

最大洪水調節量：最大流入量毎秒約1,210m³の全量を洪水調節

横山ダム地点

最大流入量：毎秒約920m³

最大洪水調節量：最大流入量のうち毎秒約640m³を洪水調節